



2013年度 Communication On Progress

2013年4月1日～2014年3月31日

2014年8月27日
広友ホールディングス株式会社

トップメッセージ



2013年度は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定や富士山の文化遺産登録など、日本中が高揚感に沸きたった1年でした。広友グループにおいても「2013-2015年度中期経営計画」である「Breakthrough Koyou 58！」が始動し、伝統の継承と革新への挑戦に取り組みました。

その一歩がインテリア事業再編による「ONEデザインズ株式会社」の設立となります。2014年4月にグループ3社のインテリア部門を統合し、住宅産業向けインテリアデザインのプロ集団として生まれ変わりました。より早く、より深く、ニーズにお応えできるものと確信しております。

また、東日本大震災の復興活動をCSV(Creating Shared Value)事業として捉え、新たな三ヵ年計画を策定したことも更なる決意の証です。復興庁主催のマッチング事業「結の場」に積極的に参加するなど、社会の課題解決に向けて、真摯に取り組むこともまた我々に課された使命であると考えます。

広友グループの企業理念は「全社一丸となり 顧客を創造し 社業発展、進歩を図り 社会に貢献する」。まさに原点回帰こそ、当社グループが目指すべき姿であったと言っても過言ではありません。今後も更なる飛躍を目指し精進して参りますので、引き続きご支援の程、宜しく願い申し上げます。

2014年8月27日

梅木孝夫

会社概要とグループ概要



■会社概要

会社名: 広友ホールディングス株式会社

所在地: 〒107-8433 東京都港区赤坂1-4-17 広友ビル

代表者: 代表取締役会長兼社長 梅木孝夫

資本金: 4,000万円

従業員数: 59名(平成26年4月現在)

設立: 1957年(昭和32年)

2009年4月1日持株会社化に伴い、廣友物産株式会社から商号変更

■グループ概要

資本金: 31,000万円(グループ合計)

売上高: 235億4,400万円(平成26年3月)

従業員数: 592名(平成26年4月現在)

グローバル・コンパクト10原則



人権	原則.1	人権擁護の支持と尊重
	原則.2	人権侵害への非加担
労働基準	原則.3	組合結成と団体交渉権への実効化
	原則.4	強制労働排除
	原則.5	児童労働の実行的な排除
	原則.6	雇用と職業の差別撤廃
環境	原則.7	環境問題の予防的アプローチ
	原則.8	環境に対する責任のイニシアティブ
	原則.9	環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則.10	強要・賄賂等の腐敗防止の取組み

人権分野に関する活動報告			
2013年度の活動内容	結果・評価	評価 ○・△・×	2014年度の活動目標
■公平性のある人事制度改定の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年コンサルを採用、制度構築にあたり、 ①構想設計(設計方針・課題整理など) ②詳細設計(資格制度・賃金制度・人事評価など) ③導入準備(説明会・研修会)を実施した。 	○	■新人事制度の円滑な導入・運用の実施 (公平な人事制度・目標管理制度・評価者 研修・昇格試験・研修制度など)

労働分野に関する活動報告			
2013年度の活動内容	結果・評価	評価○・△・×	2014年度の活動目標
■公平な従業員の募集及び採用の推進	・法規制に基づいて、適正な採用活動を行った。	○	■公平な従業員の募集及び採用の推進
■安全管理部を新設し社外活動の労災事故の未然防止を強化	・グループ会社の業務に応じた安全衛生管理規程を改定した。 ・上記の普及教育を全員に実施した。	○	■前年度改定した安全衛生管理規程の実行状況の点検確認と、これの定着化を図り労災事故の未然防止を図る。
■労働法規・法令改定への対応 法規・法令の改定に備え、基本概要及び基本知識を理解し、常に法令順守に努める	・昨年度は法規・法令など改定による、対応すべき項目の発生はなかった。	○	■労働法規・法令改定への対応 法規・法令の改定に備え、基本概要及び基本知識を理解し、常に法令順守に努める。
■平等な教育プログラムの推進 経営方針に基づいて社員の育成・教育プログラムを提供する	・計画的な社員育成、教育研修を行った。 ・研修内容の見直し、対象者の選定、実施方法などを検討した。	○	■平等な教育プログラムの推進 昨年に引き続き、社員の育成・教育プログラムを検討する。
■ワークライフバランスの推進 ①所定外労働時間の削減に努める ②育児休暇制度の推進	・残業が多い部署への改善指導を継続的に実施した。 ・育児休暇利用者が安心して制度の利用ができるよう、バックアップを行った。	○	■ワークライフバランスの推進 ①所定外労働時間の削減に努める ②子供参観日の実施
■公平性のある人事制度改定の検討・実準備を行う	・現行制度の問題・課題の抽出 役員・部門長へのヒアリングなど、基本方針・設計など検討準備を行った。	○	

環境分野に関する活動報告			
2013年度の活動内容	結果・評価	評価○・△・×	2014年度の活動目標
■エコアクションのグループ全事業会社の活動内容の充実を図る	・各社ごと年度の環境目標と取り組み内容を1枚のシートに見える化し、社員全員の啓蒙を図った。	○	
■カーボンオフセットの更なる拡大を図る	・2012年に比し2013年は利用件数で約20%減少したものの、利用総数では約2倍に増加した。これはレンタル品のカーボン受注は減少したが、オフィス移転や不用品の片付けサービスの受注は増加しており、CO2排出責任を自覚している企業がある。	○	■カーボンオフセットの更なる拡大を図る。
■太陽光発電システムのレンタル推進・拡大	・2013年の太陽光発電システムのレンタルは25件受注を得た。引き続きレンタル受注の拡大を図る。	○	■太陽光発電システムのレンタル推進
■【環境社会検定合格者 年間20名】の目標を設定	・2013年までのグループ累計が135名の合格者となった。年間合格者は8名であり目標未達であった。引き続き社員への受験奨励を図る。	△	■環境社会検定合格者年間20名
■社内における環境保全取組の拡大を図る	・グリーン購入品は消耗品を中心に推進。 ・エコキャップは累計571,738個(ワクチンにすると701本)を寄付。 ・太陽光発電システム(50kw)は年間約63MWH発電実施。	○	■社内における環境取組を推進する。
■自社システムの増設 千葉・愛知・福岡に売電用発電システムを増設	・太陽光発電自社システムを千葉・愛知・福岡に増設完了した。	○	

腐敗防止分野に関する活動報告			
2013年度の活動内容	結果・評価	評価○・△・×	2014年度の活動目標
■コンプライアンスの意識向上の推進	・勉強会は2拠点で実施した。コンプライアンスチェックシートは全従業員へ配布済み。漸次向上している。	○	■コンプライアンスの意識向上の推進

活動報告の掲載



このCommunication On Progressは下記のホームページより
ご覧頂く事ができます。

■グローバルコンパクトのホームページ

<http://www.unglobalcompact.org/participant/12307-Koyou-Holdings-Co-Ltd->

■広友ホールディングス株式会社のホームページ

http://www.koyou-holdings.co.jp/csr/global_compact/

【連絡先】

広友ホールディングス株式会社 広報部

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル4階

電話:03-3587-1905 FAX:03-3587-1800